

都市空間の熱環境評価・対策技術の開発

国土交通省総合技術開発プロジェクト(平成16~18年度)

今後のヒートアイランド対策が効果的に実施できるように、その科学的裏付けとなる現象解明と、対策の定量的評価手法等の開発を行う。

ヒートアイランド対策を総合的かつ計画的に講ずるために必要な、各種対策の効果を定量化するとともに、それらの対策を総合的に講じた場合の効果をシミュレートする技術を開発する。

さらに、このシミュレーション技術を国や地方公共団体等向けに実用化するために、パソコン上でシミュレート可能なソフトを開発するとともに、シミュレーションの入力データとして必要な地理情報の高度化・活用技術を開発する。

技術開発成果の活用イメージ

ヒートアイランド現象を定量的に把握し、現象の再現やヒートアイランド対策効果を予測できる**実用的なシミュレーション技術の提供を目指す**

スーパーコンピュータや実測調査、風洞実験等の科学的手法を駆使して、現象解明や対策効果を定量化するシミュレーション技術を開発

ヒートアイランド対策、まちづくり等の施策の評価ツールとして活用

技術開発の内容

個別のヒートアイランド対策効果の定量化



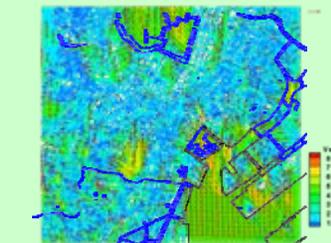
地理情報の高度化・活用技術の開発



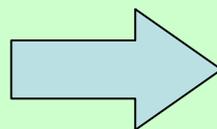
様々なヒートアイランド対策の効果を総合的に評価できるシミュレーション技術の開発



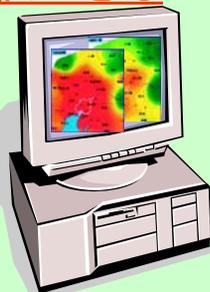
実測調査・実験による現象の解明



スーパーコンピュータ(地球シミュレータ)を活用した現象の解明・対策効果の予測



実用的なシミュレーション技術の開発



パソコン上で地域の特性に即した効果的な対策を検討できる